



福岡医発第82号(地)
平成30年 4月 5日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

麻疹患者の発生に伴う対応について

平成30年3月23日(金)に沖縄県において台湾からの観光客が麻疹と確認されて以降、4月3日(火)までに18例の麻疹患者が確認されたことから、別添のとおり沖縄県保健医療部より福岡県保健医療介護部を通して情報提供がありました。

本件は、当該患者のうち数名が、発熱前日から医療機関を受診するまでに、那覇市内の国内外観光客が多く訪れる地区を行動していたこと及び当該患者のうち1名が、発症日である3月26日(月)の9時半から11時頃に、見送りのため那覇空港を利用したことがわかり、当該患者と接触した方は感染する可能性があることから広く情報提供するものです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、貴会会員に対し下記についてご留意いただき、平成30年3月17日以降に沖縄県を訪問した患者について、麻疹を念頭においた診察を行っていただきますよう周知方よろしくお願いいたします。

記

1. 麻疹患者の診療に係る留意事項

- 発熱や発疹を呈する患者が受診された際は、麻疹の予防接種歴の確認を行うなど、麻疹の発生を意識した診療をお願いします。
- 麻疹患者(疑い含む。)の診療にあたっては、個室管理を行うなどの院内感染対策を実施してください。
- 麻疹患者を診断した場合は、臨床診断例や検査診断例にかかわらず法第12条第1項の規定に基づき最寄りの保健所へ、直ちに届けてください。
- なお、保健所から遺伝子検査のために検体提出を求めることがあります。

2. 予防接種について

麻疹の感染及び発症を予防するMRワクチンについては、現在、予防接種法に基づく定期接種に必要な量が確保されていますが、任意接種の希望者が増加し不足することも懸念されるため、予防接種法に基づく対象者への定期接種を優先するとともに、任意接種を希望される方には、母子健康手帳等により接種歴の確認や抗体検査を優先するなどの対応をお願いします。

30 疾病第32号
平成30年4月3日

公益社団法人福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部長
(がん感染症疾病対策課感染症対策係)

麻しん患者の発生について (情報提供)

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、沖縄県保健医療介護部地域保健課から別添のとおり事務連絡があり、感染拡大のおそれがあることから、情報提供します。

つきましては、平成30年3月17日以降に、沖縄県を訪問した患者について、麻しんを念頭においた診察を行っていただきますよう、貴会会員に周知をお願いします。

－問合せ先－

福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
感染症対策係 中村

TEL 092-643-3268 FAX 092-643-3331

E-mail:nakamura-r2769@pref.fukuoka.lg.jp

マスコミ各位

平成30年4月4日（水）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担当：久高、仁平

電話：098-866-2215

麻しん（はしか）患者の発生について（第五報）

報道関係者の方へ

本県では、平成30年3月23日に、平成26年以来となる麻しん患者が発生して以降、4月1日までに、初発例を含めて12例の麻しん患者が確認されました。これを受け、平成30年4月3日には、本県の麻しん患者発生状況が、別添の「沖縄県麻しん発生時対応ガイドライン」における「レベル3」に該当したことをお知らせしています。

平成30年4月3日までに、新たに6名の麻しん患者が確認されました。また、これまでに確認されていた患者のうち1名が、発症日である3月26日（月）の9時半から11時頃に、見送りのため、那覇空港を利用したことがわかりました。詳細は別添資料の通りです。

麻しんに感染しないためには、予防接種が重要です。県では厚生労働省と、本県へのワクチンの安定供給について調整いたしました。麻しんの定期予防接種対象（第1期：1歳、第2期：小学校入学前）の方は、早めに予防接種（MRワクチン）を受けるよう、各医療機関および県民への周知の程宜しくお願い致します。

麻しん患者の発生は、更に継続すると考えられます。そのため、今後は、以下のURLに発生状況を掲載し、新しい情報が確認されましたら、午前10時頃に更新を行うものとします。

沖縄県保健医療部地域保健課HP

「麻しん（はしか）患者の発生について」

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiikihoken/kekkaku/mashin.html>

2 県民の皆様へのお願い

麻しんは、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。本県においては、平成11年から13年の麻しん流行時に、9名のこどもが犠牲になっています。

現在、非常に多くの方が、麻しん患者と接触した可能性があります。流行が拡大すると、抵抗力の弱い乳幼児が犠牲になるので、麻しんの拡大防止について、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

また、小学生以下の方への定期予防接種等の助成については、お住まいの市町村により対象が異なる場合がありますので、まずは市町村へお問い合わせをお願い致します。

また、定期予防接種以降でも、ワクチンを受けたか分からない、もしくは1回だけという方も予防接種をご検討下さい。

参考：沖縄県医師会HP「予防接種実施医療機関一覧」

<http://www.okinawa.med.or.jp/>

※予防接種を受けたい方は、一覧にある医療機関に電話で必ず予約をするようにしてください。

表【あなたは何年生まれですか？ワクチン接種状況チェック！】	
麻しん	ワクチン接種の状況
昭和52年以前生まれの者	定期接種が行われていませんでしたが、自然に麻しんに感染する世代でもあるので、免疫がある人となない人がいます。
昭和52年～平成2年以前生まれの者	定期接種を受ける対象になっていましたが、1回だけの接種となっています。麻しんの免疫が低い可能性があります。低い場合は、修飾麻しんといって、自身は比較的軽い症状ですみませんが、周囲に感染させてしまう恐れがありますので、2回接種を必要とします。
平成3年以降生まれの者	定期接種2回接種の世代です。母子手帳を確認の上、接種が行われていない場合は、MRワクチンを接種して下さい。

沖縄県における麻疹患者発生状況（H30.4.3時点）

患者 No.	年齢	性別	居住地	予防接 種歴	発熱日	検査確認 日	推定感染源	備考
1	30代	男性	台湾	不明	3月14日	3月20日	国外	初発例。3/17から沖縄 本島内を旅行
2	40代	女性	石垣市	有(1回)	3月27日	3月29日	3/17にNo.1と接触	
3	30代	男性	中部管内	無	3月28日	3月29日	3/18にNo.1と接触	
4	20代	男性	那覇市	不明	3月26日	3月31日	3/17にNo.1と接触	
5	0歳	男性	那覇市	無	3月25日	3月31日	不明(A施設)	
6	30代	男性	那覇市	不明	3月27日	3月31日	3/17にNo.1と接触	
7	40代	男性	那覇市	不明	3月29日	3月31日	不明(A施設)	
8	6歳	男性	宜野湾市	無	3月25日	3月31日	不明(A施設)	
9	40代	男性	南城市	不明	3月26日	4月1日	不明(A施設)	
10	30代	女性	浦添市	不明	3月25日	4月1日	3/17にNo.1と接触	
11	30代	男性	糸満市	有(1回)	3月31日	4月1日	3/17にNo.1と接触	3/26に喉の痛みあり
12	20代	女性	那覇市	無	3月26日	4月1日	不明(A施設)	
13	20代	女性	名護市	不明	3月28日	4月3日	不明(A施設)	
14	8歳	男児	那覇市	無	3月28日	4月3日	調査中	
15	9歳	女児	那覇市	不明	3月30日	4月3日	調査中	
16	20代	女性	那覇市	有(1回)	4月1日	4月3日	調査中	
17	10代	男性	宜野湾市	有(2回)	3月30日	4月3日	調査中	
18	30代	男性	うるま市	不明	3月30日	4月3日	調査中	
19								
20								
21								
22								
23								
24								

今回、新たに追加された感染者

【患者行動歴及び健康観察期間】

患者 No.	行動歴	健康観察期間
1	3/17(土)那覇市国際通り及び新都心 3/18(日)那覇市国際通り、糸満市西崎、北谷町美浜 3/19(月)今帰仁村古宇利島、名護市内	3/24(土)～4/9(月)
4	3/25(日)那覇市国際通り 3/26(月)発熱。那覇市国際通り及び近辺 3/27(火)那覇市国際通り及び近辺	3/31(土)～4/17(火)
5	3/24(土)那覇市新都心地区 3/25(月)発熱。	
6	3/26(月)那覇市国際通り及び近辺 3/27(火)発熱。那覇市国際通り	
9	3/26(月)9:30～11:00頃 那覇空港国内線	
12	3/25(日)那覇市国際通り	

マスコミ各位

平成30年4月3日（火）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：久高、仁平

電 話：098-866-2215

本県の麻しん患者発生状況がレベル3になりました

報道関係者の方へ

本県では、平成30年3月23日に、平成26年以来となる麻しん患者が発生して以降、4月1日までに、初発例を含めて12例の麻しん患者が確認されました。これを受け、平成30年4月2日に開催されました「はしか“0”プロジェクト委員会緊急会議（検討評価委員会）」において、本県の麻しん患者発生状況は、別添の「沖縄県麻しん発生時対応ガイドライン」における「レベル3」に該当したことが決定されました。

今後も、更なる麻しん患者の発生が考えられることから、各医療機関および県民への注意喚起を宜しくお願い致します。

マスコミ各位

平成30年4月1日（日）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：山内、仁平、久高

電 話：098-866-2215

那覇市保健所保健総務課 結核感染症グループ

担 当：仲宗根、安藤

電 話：098-853-7971

麻しん(はしか)患者の発生について(第三報)

1 報道関係者の方へ

平成30年3月23日に、本県では平成26年以来となる麻しん患者が発生し、3月29日には2名の麻しん患者が発生したことを報告しましたが、3月31日に、新たに5名の麻しん患者が確認されました。今後、更なる麻しん患者の発生が考えられることから、各医療機関および県民への注意喚起を宜しくお願い致します。

麻しん患者が周囲の人へ感染させる期間の始まりは、症状が出る1日前からとされています。初発患者と新たに確認された患者のうち3名は、周囲へ感染させる可能性がある期間中に、多くの方との接触があったと考えられます。

下記の患者情報を参考に、該当する地区へ行かれた方で、健康観察期間中に発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

なお、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることがないように、格段のご配慮をお願いします。

2 県民の皆様へのお願い

麻しんは、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。本県においては、平成11年から13年の麻しん流行時に、9名のこどもが犠牲になっています。

現在、非常に多くの方が、麻しん患者と接触した可能性があります。流行が拡大すると、抵抗力の弱い乳幼児が犠牲になるので、麻しんの拡大防止について、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

3 患者の情報

患者 No.	年齢	性別	居住地	予防接種歴	発熱日	検査確認日	推定感染源	備考
1	30 代	男性	台湾	不明	3/14	3/20	国外	初発例。3/17 から沖縄本島内を旅行
2	40 代	女性	石垣市	有 (1 回)	3/27	3/29	3/17 に No.1 と接触	
3	30 代	男性	中部管内	無	3/28	3/29	3/18 に No.1 と接触	
4	20 代	男性	那覇市	不明	3/25	3/31	3/17 に No.1 と接触	
5	0 歳	男性	那覇市	無	3/25	3/31	不明*	
6	30 代	男性	那覇市	不明	3/27	3/31	3/17 に No.1 と接触	
7	40 代	男性	那覇市	不明	3/29	3/31	不明*	
8	6 歳	男性	中部管内	無	3/25	3/31	不明*	

※ No. 5、7、8 の症例は、初発患者が那覇市内を観光した 3 月 17 日に、同じ那覇市内大型商業施設を利用されています。

【患者行動歴及び健康観察期間】

患者 No.	行動歴	健康観察期間
1	3/17 (土) 那覇市国際通り及び新都心 3/18 (日) 那覇市国際通り、糸満市西崎、北谷町美浜 3/19 (月) 今帰仁村古宇利島、名護市内	3/24 (土) ~ 4/9 (月)
4	3/25 (日) 那覇市国際通り 3/26 (月) 発熱。那覇市国際通り及び近辺 3/27 (火) 那覇市国際通り及び近辺	3/31 (土) ~ 4/17 (火)
5	3/25 (日) 那覇市新都心地区 3/26 (月) 発熱。	
6	3/26 (月) 那覇市国際通り及び近辺 3/27 (火) 発熱。那覇市国際通り	

4 麻疹（はしか）について

原 因：麻疹ウイルス

潜伏期間：10～12 日

主な症状：感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10 万人に 1 人程度と頻度は高くはないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染（麻疹ウイルスの空気中での生存期間は 2 時間以下）

感染症法：五類感染症

予 防：予防接種が有効

麻疹に感染しないためには、予防接種が重要です。

麻疹の定期予防接種対象（第 1 期：1 歳、第 2 期：小学校入学前）の方は、早めに予防接種（MR ワクチン）を受けましょう。

定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MR ワクチンを受けましょう。

- 母子手帳などで麻疹ワクチンを 2 回以上受けた記録がある
- 過去に麻疹に罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）

参考【あなたは何年生まれですか？ワクチン接種状況チェック！】

麻疹	ワクチン接種の状況
昭和52年以前生まれの者	定期接種が行われていませんでしたが、自然に麻疹に感染する世代でもあるので、免疫がある人となない人がいます。
昭和52年～平成2年以前生まれの者	定期接種を受ける対象になっていましたが、1 回のみの接種となっています。麻疹の免疫が低い可能性があります。低い場合は、修飾麻疹といって、自身は比較的軽い症状ですみませんが、周囲に感染させてしまう恐れがありますので、2回接種を必要とします。
平成3年以降生まれの者	定期接種2回接種の世代です。母子手帳を確認の上、接種が行われていない場合は、MRワクチンを接種して下さい。

マスコミ各位

平成30年3月29日（木）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担当：山内、仁平

電話：098-866-2215

麻しん(はしか)患者の発生について(第二報)

1 報道関係者の方へ

平成30年3月23日に、本県では平成26年以来となる麻しん患者が発生したことを報告しましたが、本日、3月29日に、新たに2名の麻しん患者が確認されました。

当該患者は、2名とも初発の患者との接触歴が確認されています。引き続き、初発患者と接触した（同一空間を共有した）方は、麻しんに感染している可能性がありますので、各医療機関および県民への注意喚起をお願いします。

今回確認された2名の患者については、居住地を管轄する保健所が注意喚起及び健康観察対象としておりました。引き続き、2名の患者の接触者についても、注意喚起及び健康観察を行います。

なお、麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされております。現時点までに確認された患者が利用した施設等を利用されても、当該患者を原因とする麻しんウイルスに感染することはありません。

また、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることがないように、格段のご配慮をお願いします。

2 患者の情報

1. 石垣市在住、40代、女性。初発患者が利用した宿泊施設を、同日に利用。

【経過】

3/27（火）発熱。八重山保健所及び管内医療機関に事前連絡し、医療機関を受診。

3/28（水）当該医療機関から八重山保健所へ、麻しん疑い患者報告。

八重山保健所から衛生環境研究所へ検査依頼。

3/29（木）検査の結果、麻しん遺伝子陽性。

2. 中部保健所管内在住、30代、男性。初発患者が利用した飲食店の従業員。

【経過】

3/28（水）発熱。中部保健所及び管内医療機関に事前連絡し、医療機関を受診。

当該医療機関から中部保健所へ、麻しん疑い患者報告。

中部保健所から衛生環境研究所へ検査依頼。

3/29（木）検査の結果、麻しん遺伝子陽性。

3 県民の皆様へのお願い

麻しんは、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。

麻しん患者と接触した場合は、接触後 7～21 日間の健康観察が必要となります。そのため、4 月 18 日までに発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

4 麻しん（はしか）について

原 因：麻しんウイルス

潜伏期間：10～12 日

主な症状：感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10 万人に 1 人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染（麻しんウイルスの空気中での生存期間は 2 時間以下）

感染症法：五類感染症

予 防：予防接種が有効

麻しんに感染しないためには、予防接種が重要です。

麻しんの定期予防接種（第 1 期：1 歳、第 2 期：小学校入学前）がまだの方は、早めに予防接種（MR ワクチン）を受けましょう。

特に、4 月から小学校に入学されるお子さん（第 2 期該当）で、予防接種がまだの方は、今月中に受けましょう。

また、定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MR ワクチンを受けましょう。

- 母子手帳などで麻しんワクチンを 2 回以上受けた記録がある
- 過去に麻しんに罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）

マスコミ各位

平成30年3月23日（金）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担当：山内、仁平

電話：098-866-2215

麻しん(はしか)患者の発生について(注意喚起)

1 報道関係者の方へ

この度、本県では平成26年以来となる麻しん患者が報告されました。

当該患者は、3月17日に台湾より来県し、3月19日まで沖縄本島内を移動しております。当該患者と接触した（同一空間を共有した）方は、麻しんに感染する可能性がありますので、各医療機関および県民へ注意喚起のため情報提供を行います。

なお、麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされております。現時点において当該患者が利用した施設等を利用されても、当該患者を原因とする麻しんウイルスに感染することはありません。

また、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることがないように、格段のご配慮をお願いします。

2 患者の情報

台湾在住、30代、男性。

【経過】

3/14（水）発熱。

3/17（土）台北より、タイガーエアー230便で、沖縄県へ移動。

モノレールを利用し、那覇市内観光等。

那覇市内ホテルで宿泊。

3/18（日）モノレールを利用し、レンタカー店へ移動。

レンタカーを利用し、糸満市及び北谷町内を観光等。

うるま市内ホテルで宿泊。

3/19（月）レンタカーを利用し、今帰仁村、名護市内及びうるま市内を観光等。

発疹出現。夜間に自ら中部保健所管内医療機関を受診し、入院。

3/20（火）当該医療機関から中部保健所へ、麻しん及び風しん疑い患者報告。

中部保健所から衛生環境研究所へ検査依頼し、検査の結果、麻しん遺伝子陽性（風しんは陰性）。

3/22（木）衛生環境研究所が遺伝子解析を実施した結果、遺伝子型D8と判定。

患者は当該医療機関を退院。中部保健所管内施設へ移動し、保健所の健康観察下で療養中。

3 県民の皆様へのお願い

麻疹は、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。

麻疹患者と接触した場合は、接触後 7～21 日間の健康観察が必要となります。そのため、3月24日～4月9日に発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻疹かもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

4 麻疹（はしか）について

原 因：麻疹ウイルス

潜伏期間：10～12 日

主な症状：感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10 万人に 1 人程度と頻度は高くないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染（麻疹ウイルスの空気中での生存期間は 2 時間以下）

感染症法：五類感染症

予 防：予防接種が有効

麻疹に感染しないためには、予防接種が重要です。

麻疹の定期予防接種（第 1 期：1 歳、第 2 期：小学校入学前）がまだの方は、早めに予防接種（MR ワクチン）を受けましょう。

特に、4 月から小学校に入学されるお子さん（第 2 期該当）で、予防接種がまだの方は、今月中に受けましょう。

また、定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MR ワクチンを受けましょう。

- 母子手帳などで麻疹ワクチンを 2 回以上受けた記録がある
- 過去に麻疹に罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）